

第24回

水シンポジウム

2019 in しが



水辺を活かしたまちづくりと 環境保全の相乗効果

ピアザ淡海・大会議室

2019年8月22日（木）13:15-14:55

第2分科会のテーマ・目的

テーマ

『水辺を活かしたまちづくり と環境保全の相乗効果』

目的

琵琶湖は近畿約1,450万人の生活・産業を支える水源であるだけでなく、アユやビワマス等の水産資源の供給、景観を生かしたカフェやレストラン、ビワイチ（琵琶湖一周サイクリング）、瀬田川ぐるりさんぽ道、キャンプ場、水浴場等、多種多様な利用がなされている。

一方、近年、アユの不漁や水草の大量繁茂、外来種の侵入等により、琵琶湖を中心とした生態系に変化が生じてきている。

このような琵琶湖が有する多面的価値と現状の課題を再認識し、人と川・湖との関わり方について考え、次世代により良い琵琶湖を引き継ぐ方策を考える。

第2分科会パネリストのご紹介

■ 研究者

佐藤祐一 (滋賀県立琵琶湖環境科学研究センター／水・物質
動態解析、環境保全)

■ 民間会社

秋村 洋 ((株)まちづくり大津／水辺利用を含めた中心市街
地活性化。大津にて市民と共に水辺の可能性を探る)

石上 僚 ((株)みらいもりやま21 /水辺環境改善の取り組み
を通じた中心市街地活性化、郷土愛の醸成。)

■ 行政関係者

松澤秀夫 (大津市未来まちづくり部次長／まちづくり、水辺
空間のさらなる活用)

三和伸彦 (滋賀県琵琶湖環境部技監／琵琶湖の環境をはじめと
して、琵琶湖が抱える様々課題に取り組む)

堀田伸之 (近畿地方整備局琵琶湖河川事務所長／水防災、河川
環境に関する河川管理全般を担当)

コーディネータ：立川康人 (京都大学教授／土木学会水工学委員会)

土木学会 水工学委員会

<http://committees.jsce.or.jp/hydraulic/>

土木学会の調査研究委員会の一つで、河川や水資源に関する工学とそれらに関連する諸課題の調査・研究それらの推進・情報共有を図ることを目的として活動しています。

■ 専門分野別 4 部会での研究・調査活動

水文部会、基礎水理部会、環境水理部会、河川部会

■ 分野横断的な小委員会活動

水害対策小委員会、ISO/TC113小委員会、流量観測技術高度化研究小委員会、グローバル気候変動研究推進小委員会、河道管理研究小委員会など

■ 水の問題に関する情報発信

水工学に関する書籍や論文集を編集し、水工学講演会、河川技術に関するシンポジウム、水工学に関する夏期研修会等を開催して、最新の水工学に関する知見の情報共有を図っています。

水シンポジウムを各都道府県で開催し、市民・学会・行政・民間が一同に会して水に関する諸問題をともに議論し、相互理解と情報共有を図る機会を提供しています。

第2分科会の進行について

1. パネリストによる「まちづくり」と環境保全の事例紹介

- 1-1. 佐藤氏：環境保全活動と「まちづくり」への展開
- 1-2. 秋村氏：なぎさのテラス、湖岸デザインを通じた「まちづくり」
- 1-3. 石上氏：ほたる、川遊びを通じた「まちづくり」
- 1-4. 松澤氏：水辺空間のさらなる活用
- 1-5. 三和氏：琵琶湖の価値と滋賀県の環境施策
- 1-6. 堀田氏：地域のまちづくりと連携した河川整備

2. 質疑応答、フロアの皆様との意見交換

3. まとめ